

緑の現況と特性図

「やま」ゾーン

- ・丹沢大山国定公園や県立丹沢大山自然公園などの自然の緑が豊富です。また、これらは県下において広域的な緑の拠点となっています。
- ・大山及び日向観光をはじめ、自然とのふれあいの場が豊富です（登山、ハイキング、キャンプ場等）。
- ・土砂災害などを防止する砂防の役目と、水循環を促進する緑のダムとなっています。
- ・山並みの美しい伊勢原の背景の緑（心象風景）となっています。

「おか」ゾーン

- ・「やま」の豊かな緑を「まち」につなげる役割をしています。
- ・特に、日向から伊勢原市総合運動公園（西富岡）、市民の森ふじやま公園へと連なる丘陵地と大山から比々多地区に連なる山並みは、その役割が顕著です。
- ・身近な自然とのふれあいの場（里山、水路などの水辺）が豊富です。
- ・伊勢原市総合運動公園が立地します。
- ・自然の緑と集落地などの緑が調和する緑豊かな景観が広がっています。

日向川

- ・「歌川・渋田川」ベルトに位置づけ、緑の連続性の軸となっている。

「やま」ゾーン

- ・丹沢大山国定公園や県立丹沢大山自然公園などが大半を占める山間地です。
- ・大山及び日向の観光地が位置します。

「おか」ゾーン

- ・樹林地や農地などが、集落地と調和している地域です。

「まち」ゾーン

- ・市街化区域が大半を占め、伊勢原駅などを中心に高密度な市街地が形成されています。
- ・このような地域では緑が少なく、公園や街路樹が貴重な緑となっています。
- ・調整区域は、樹林地や農地が保全され、市街化区域とは様相が異なっています。
- ・伊勢原駅周辺や行政センター地区は、都市活動の拠点として伊勢原市の顔となっています。

「さと」ゾーン

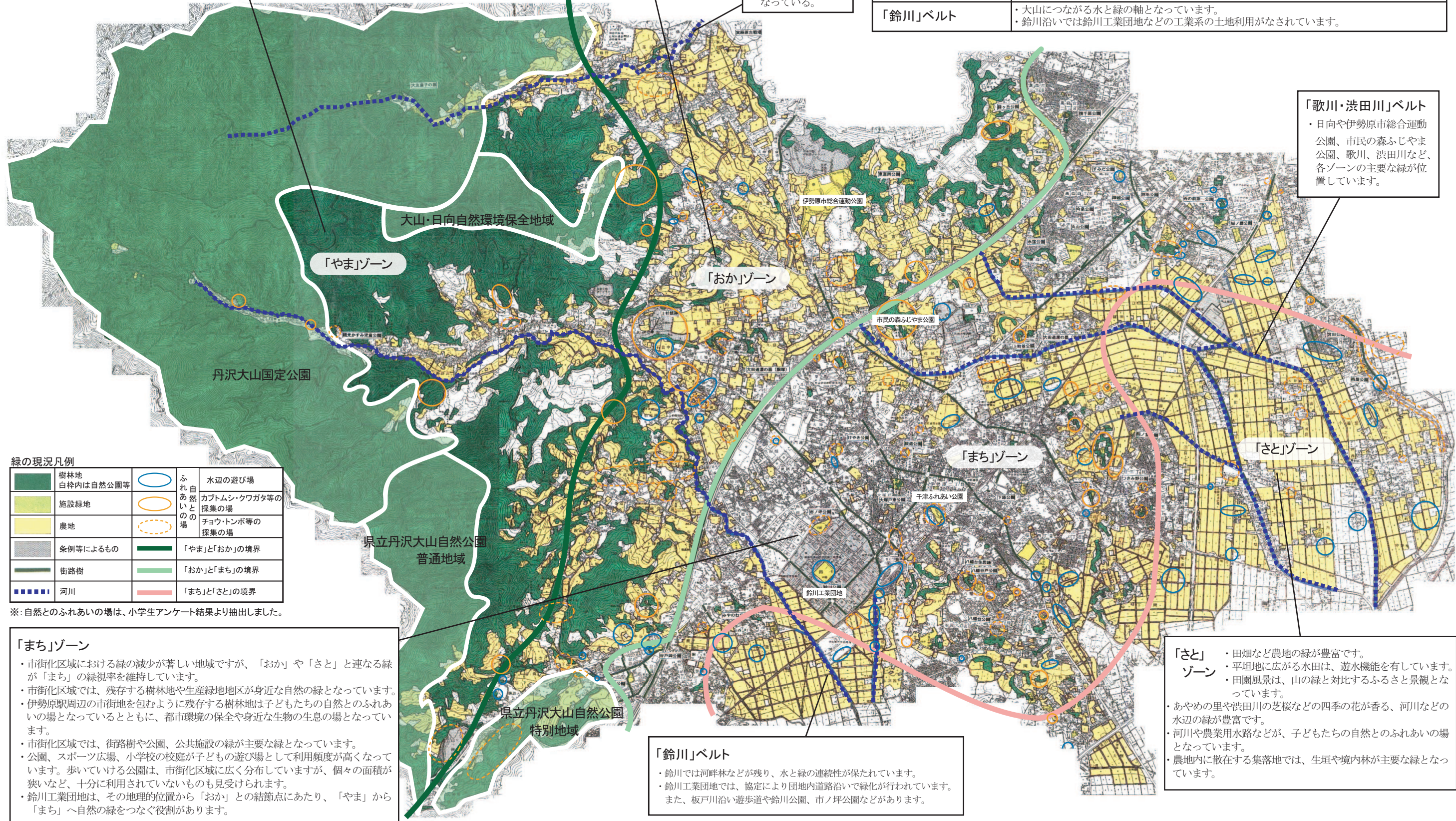
- ・広大な平坦地であり、大半が水田などの農地が占めています。

「歌川・渋田川」ベルト

- ・日向から伊勢原市総合運動公園（西富）、市民の森ふじやま公園へと連なる丘陵地が歌川や渋田川につながっています。
- ・第二東名自動車道などの広域幹線道路や成瀬第二特定土地区画整理事業など、土地利用の転換が図られます。

「鈴川」ベルト

- ・大山につながる水と緑の軸となっています。
- ・鈴川沿いでは鈴川工業団地などの工業系の土地利用がなされています。



緑の現況凡例

	樹林地 白枠内は自然公園等		水辺の遊び場
	施設緑地		カブトムシ・クワガタ等の 採集の場
	農地		チョウ・トンボ等の 採集の場
	条例等によるもの		「やま」と「おか」の境界
	街路樹		「おか」と「まち」の境界
	河川		「まち」と「さと」の境界

※：自然とのふれあいの場は、小学生アンケート結果より抽出しました。

「まち」ゾーン

- ・市街化区域における緑の減少が著しい地域ですが、「おか」や「さと」と連なる緑が「まち」の緑視率を維持しています。
- ・市街化区域では、残存する樹林地や生産緑地地区が身近な自然の緑となっています。
- ・伊勢原駅周辺の市街地を包むように残存する樹林地は子どもたちの自然とのふれあいの場となっているとともに、都市環境の保全や身近な生物の生息の場となっています。
- ・市街化区域では、街路樹や公園、公共施設の緑が主要な緑となっています。
- ・公園、スポーツ広場、小学校の校庭が子どもの遊び場として利用頻度が高くなっています。歩いていける公園は、市街化区域に広く分布していますが、個々の面積が狭いなど、十分に利用されていないものも見受けられます。
- ・鈴川工業団地は、その地理的位置から「おか」との結節点にあたり、「やま」から「まち」へ自然の緑をつなぐ役割があります。

「歌川・渋田川」ベルト

- ・日向や伊勢原市総合運動公園、市民の森ふじやま公園、歌川、渋田川など、各ゾーンの主要な緑が位置しています。

「さと」ゾーン

- ・田畑など農地の緑が豊富です。
- ・平坦地に広がる水田は、遊水機能を有しています。
- ・田園風景は、山の緑と対比するふるさと景観となっています。
- ・あやめの里や渋田川の芝桜などの四季の花が香る、河川などの水辺の緑が豊富です。
- ・河川や農業用水路などが、子どもたちの自然とのふれあいの場となっています。
- ・農地内に散在する集落地では、生垣や境内林が主要な緑となっています。

「鈴川」ベルト

- ・鈴川では河畔林などが残り、水と緑の連続性が保たれています。
- ・鈴川工業団地では、協定により団地内道路沿いで緑化が行われています。また、板戸川沿い遊歩道や鈴川公園、市ノ坪公園などがあります。